

					決算事項別明細書			P91	
大事業		10	保健・医療・福祉		担当部署		いきいき健康課		
中事業		10	市民の健康づくりの推進		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		10	保健衛生総務費			款	04	衛生費	
事業開始年度			令和6年度			項	01	保健衛生費	
事業進捗度			－			目	01	保健衛生総務費	
当初予算額			20,141,000 円		目的	市民の健康づくりを支援するため、地域医療体制と医療機関の施設整備の充実を図る。			
予算現額			51,491,000 円						
決算額 A			48,293,168 円						
財源内訳	国・県支出金		国10/10 県	16,017,000 円					
	地方債		過疎	2,100,000 円					
	その他		諸収入	28,730 円					
	一般財源			30,147,438 円					
人件費コスト B		1.6人役	12,211,200 円		総事業費 A+B		60,504,368 円		
【事業名称】事業費国・県支出金地方債その他一般財源									
【在宅当番医制事業】4,236,100円0円0円0円4,236,100円 市民の休日及び夜間の診療体制を確保するため、一般社団法人安来市医師会に休日（日曜日及び祝日）の在宅当番医制事業を委託した。									
【病院群輪番制運営事業負担金】2,485,170円0円0円0円2,485,170円 松江圏の二次救急医療機関の運営費と設備整備費を、松江圏救急医療対策協議会を通じて負担することによって、松江圏の二次救急医療体制を整備し、市民の安心・安全の確保を図った。									
【地域医療教育推進事業】864,801円864,000円0円0円801円 将来の医療従事者を目指す児童・生徒の増加を目的とし、市内の小中学生を対象として医師、看護師等による講演や医療に関する図書購入等を通じ医療職を身近に感じる機会とした。									
【医師・看護師等確保対策事業】2,926,460円0円0円28,730円2,897,730円 医師・薬剤師及び看護職の養成及び確保に資することを目的とし、安来市出身の医学生、薬学生、看護学生等に対して、奨学金貸与と事業を実施した。 令和6年度貸与者：医学生1名 薬学生1名 看護学生5名 また、地域医療を守る交流会として安来市出身の医学生等と意見交換の場をもち、安来市の地域医療の情報提供等を行った。									
【保健衛生総務費事業】22,264,837円0円2,100,000円0円20,164,837円 島根県より権限移譲を受けた看護師等の免許申請等の事務を行い、住民サービスの向上を図った。 また、伯太保健センターの多目的ホール床改修工事を行い安全かつ清潔な場所の提供を行った。 医療提供体制整備として救急医療を担う公的医療機関である安来第一病院に補助金を交付した。									
【地域医療を守る普及啓発事業】30,800円0円0円0円30,800円 医療の適正利用とかかりつけ医の重要性を伝えることを目的に医療ガイドを作成しホームページで公開した。									
【訪問診療・訪問看護支援事業】1,325,000円993,000円0円0円332,000円 訪問診療・訪問看護計画に基づく条件不利地域（移動時間がおおむね30分以上）への訪問診療・訪問看護を行う医療機関・訪問看護ステーションに対してその運営費の一部を補助し在宅療養生活の質の向上を図った。 ●実績 訪問診療 5医療機関 92件 訪問看護 2訪問看護ステーション 638件									
【医療機関等物価高騰対策緊急支援事業】14,160,000円14,160,000円0円0円0円 物価高騰等の影響を受けている医療機関等が安心・安全な医療、看護等を提供でき、患者が安心して身近な医療機関等で治療を受けられるようにするため医療機関等を支援した。 実績：65事業所 ※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業									

					決算事項別明細書			P91	
大 事 業		10	保健・医療・福祉		担当部署			いきいき健康課	
中 事 業		10	市民の健康づくりの推進		予 算 科 目	会 計	01	一般会計	
小 事 業		15	健康増進事業費			款	04	衛生費	
事業開始年度			令和6年度			項	01	保健衛生費	
事業進捗度			－			目	01	保健衛生総務費	
当 初 予 算 額			51,419,000 円		目 的	健康増進法に基づき、地区健康推進会議を核として総合的保健活動を推進することにより、生活習慣病予防及び介護予防に努める。			
予 算 現 額			47,905,000 円						
決 算 額 A			40,497,033 円						
財 源 内 訳	国・県支出金	県2/3	699,595 円						
	地 方 債		0 円						
	そ の 他	基金外	13,144,722 円						
	一 般 財 源		26,652,716 円						
人件費コスト B		9.8人役	74,793,600 円		総事業費 A+B		115,290,633 円		
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【健康増進事業費】					2,882,330円	699,595円	0円	160,738円	2,021,997円
健康教育、健康相談、訪問指導等により総合的保健活動を実施し、「健康やすぎ21」の推進を図った。地域ぐるみの健康づくりを推進するため、交流センター単位にある地区健康推進会議の活動を支援した。肝炎ウイルス検診は、受診勧奨に取り組んだが、集団検診と個別検診と受診者は昨年度と比較し減少した。生活保護受給者の特定健診及び特定保健指導については、受診率向上と重症化予防のため、担当ケースワーカー等と連携しながら受診勧奨受診者は増加した。									
また、関係機関・団体との連携を充実させ、食育推進計画の推進を図った。食と歯の健康づくりとして、食と歯のフェスティバルを令和6年11月23日（土）に伯太中央交流センターにて8020表彰式と同時開催した。今回は「食べて元気！健康寿命を目指して～健康なからだは日々の食事から」をテーマに、元気でいきいきと自分らしく生きるために、1日3回の食事の大切さや朝食摂取、お口の健康等について啓発を行った。食育推進の担い手である安来市食生活改善推進協議会ほか、共催団体とともに地域における健康づくり活動を推進した。									
									
8020表彰式			おにぎり作り			歯科コーナー			
【がん対策事業】					25,944,644円	0円	0円	1,383,984円	24,560,660円
がん検診の受診率を向上させるため、地区健康推進会議と連携して地区での啓発活動を行った。精密検査未受診者には受診勧奨通知を実施し、精密検査受診率向上を図った。集団検診では、休日の検診や特定健診とがん検診の同日受診が可能な日程設定、さらにインターネット予約の利用促進を行い、若年層の受診者の拡大を図った。乳がん検診は、市内医療機関と連携し10月のピンクリボン月間にあわせた啓発を行った。大腸がん検診は、60歳・65歳の安来市国民健康保険被保険者に大腸がん検診受診勧奨ハガキを送付し、受診者の増加を図った。									
【フレイル予防事業】					11,670,059円	0円	0円	11,600,000円	70,059円
フレイル予防事業として、関係部署・関係機関等と連携して新たに3つの事業を実施した。									
介護予防体操と買い物動作を通じて生活や認知機能の維持向上を図ることを目的にショッピングリハビリ事業をモデル的に実施した。									
後期高齢者のフレイル状態を把握するため、25項目の基本チェックリストを郵送し、回答した方には個別結果や介護予防事業の案内を行った。市内のフレイル状態の把握につながった。									
時間や場所を問わず、フレイル状態の把握ができ、結果から予防に関するアドバイスや介護予防事業の案内をする機能を地域情報アプリ「LocoCo安来」に搭載した。									

					決算事項別明細書			P91	
大 事 業		10	保健・医療・福祉			担当部署		子ども未来課	
中 事 業		10	市民の健康づくりの推進			予 算 科 目	会 計	01	一般会計
小 事 業		20	母子保健事業費				款	04	衛生費
事業開始年度			令和6年度				項	01	保健衛生費
事業進捗度			－				目	01	保健衛生総務費
当 初 予 算 額			75,145,000 円			目 的	母性と子どもの健康の保持及び増進を図るため、子どもをすこやかに出産・子育てができる環境を整備する。		
予 算 現 額			63,476,000 円						
決 算 額 A			51,289,589 円						
財 源 内 訳	国・県支出金		国	12,341,746 円					
	地 方 債			0 円					
	そ の 他		基金外	21,573,200 円					
	一 般 財 源			17,374,643 円					
人件費コスト B		3.6人役	27,475,200 円		総事業費 A+B		78,764,789 円		
【事業名称】									
【母子手帳交付及び妊婦・乳児一般健康診査事業】			13,286,809円	0円	0円	10,300,000円	2,986,809円		
妊娠を届け出た妊婦への母子健康手帳の交付と各種健診受診促進を図り、安心して安全な出産が迎えられるよう支援を行った。健診は、妊婦（14回）・乳児（1か月児）用の健診受診票を交付し、妊娠中及び出生後1か月の疾病・異常の早期発見及び経済的負担軽減を図った。									
●妊婦健診（医療機関委託）									
1回目 125人		2回目 118人	3回目 110人	4回目 119人	5回目 108人				
6回目 99人		7回目 106人	8回目 103人	9回目 100人	10回目 91人				
11回目 99人		12回目 91人	13回目 85人	14回目 54人					
●1か月児健診（医療機関委託） 114人									
【家庭訪問事業】			559,104円	336,000円	0円	0円	223,104円		
育児不安の大きい出産前後の妊産婦・乳児や養育困難家庭で養育支援の必要性がある保護者に対し、家庭訪問による子育て相談・育児指導等を行い、虐待予防及び育児不安の解消を図った。									
●妊婦訪問 延2件			●産婦訪問 延137件	●新生児・未熟児・乳児等訪問 延138件					
【乳幼児健診事業】			3,735,462円	0円	0円	0円	3,735,462円		
乳児前期（4～5か月児）、乳児後期（10～12か月児）、1歳6か月児、3歳児に対して健診を実施し、疾病・異常の早期発見・早期対応を行うとともに、適切な生活習慣づくり、虐待予防及び育児不安解消のための助言、情報の提供を行った。3歳児健診において視能訓練士等の派遣を受け、疾病の早期発見、早期治療につなげた。									
●乳児前期健診 142人 受診率97.9%			●乳児後期健診 162人 受診率96.4%						
●1歳6か月児健診 149人 受診率94.9%			●3歳児健診 191人 受診率97.4%						
【発達相談事業】			415,360円	0円	0円	0円	415,360円		
乳幼児健診等で発見された精神発達や運動発達に支援を必要とする乳幼児や、発達に不安を持つ家族及び関係機関からの相談に対して、専門スタッフによる二次健診や発達相談等の支援を実施した。									
●発達相談事業（発達クリニック）			年11回	受診者実人数 23人	延人数 30人				
【各種健康教室事業】			470,351円	0円	0円	0円	470,351円		
妊娠期及び乳幼児期からのより良い生活習慣を身につけてもらうため、また、育児不安の解消や仲間づくりの場として、離乳食教室、マタニティ教室を開催した。									
また、第1子子育てしている母親に対し、臨床心理士、保健師、保育士による、はじめての子育て教室を開催し、虐待予防の観点からも、子育ての仲間づくりや育児不安・ストレスの解消を図った。									
●離乳食教室（各年8回）			前期教室 延42組	後期教室 延29組					
●マタニティ教室（年4回）			妊婦 延16人	夫 延14人					
●はじめての子育て講座（1クール4回とし4クール開催）			25組						

【歯科保健事業】		448,012円	0円	0円	0円	448,012円
小児期からのむし歯予防のため、フッ化物洗口や歯科教室を実施し、関係機関と連携しながら家族・地域・幼稚園保育施設・小学校への普及啓発を図った。						
むし歯や歯周病にかかりやすくなる妊婦を対象に、安心安全な妊娠出産と出産後の乳児のむし歯予防につなげるため、歯科検診（歯科検診、歯科相談）を実施した。						
口腔衛生展は歯科相談・啓発活動を中心とした内容で実施した。（年1回）						
●妊婦歯科検診（年4回）		受診者	70人			
【思春期保健事業】		160,000円	0円	0円	0円	160,000円
思春期の健康づくりと望まない妊娠の防止、児童虐待防止を視点に、将来のよりよい妊娠・出産・子育てのため、関係機関との協議の場をもって連携を図り、思春期の生と性を育む健康教育を進めた。						
生徒対象研修、思春期保健連絡会、関係者研修会を開催した。						
【不妊治療費助成事業】		3,095,100円	1,547,000円	0円	0円	1,548,100円
少子化対策、子育て支援の一環として、不妊治療を受けている夫婦に対し、治療に要する費用を助成し、経済的な負担軽減を図った。						
一般不妊治療費助成として、医療保険の適用となる不妊治療及び検査、人工授精に要した費用の一部を助成し、生殖補助医療費用助成として、医療保険の適用となる生殖補助医療（体外受精・顕微授精）に要した費用の一部を助成した。						
●一般不妊治療費助成		申請延件数	29件	実人数 26人	決算額	1,155,300円
●生殖補助医療費助成		申請延件数	39件	実人数 21人	決算額	1,939,800円
【未熟児養育医療給付事業】		2,657,805円	1,382,746円	0円	436,456円	838,603円
身体の発達が未熟のまま生まれ、入院を必要とする乳児が入院治療を受ける場合に、その費用の一部を給付することで未熟児の健全な育成を図った。						
【風しん等ワクチン接種費用助成事業】		53,000円	0円	0円	0円	53,000円
妊娠を希望する女性及びその配偶者にワクチン接種費用の助成を行い、風しん等の発症防止と先天性風しん症候群の発生を予防することで、安心して妊娠出産できる環境づくりを図った。						
●申請延件数		14件				
【新生児聴覚検査費用助成事業】		375,500円	0円	0円	0円	375,500円
聴覚障がい早期発見・早期支援のため、新生児期の聴覚スクリーニング検査の費用を一部助成し、経済的負担の軽減を図り検査の受診促進を図った。						
●申請延件数		94件				
【母子保健推進事業】		7,278,435円	2,957,000円	0円	36,744円	4,284,691円
安来市こども家庭センター（ぴっこりーに）において思春期、妊娠期から出産、子育て期にわたり切れ目のない支援を行った。また、出産後の母子に対して心身のケアや育児支援を行い、産後の心身の回復や産後うつ予防を図り、産後も安心して子育てができるよう産婦健診、産後ケア事業（訪問型、通所型、短期入所型）を実施した。						
【産婦健診事業】		1,318,310円	835,000円	0円	0円	483,310円
産後2週間、産後1か月用の健診受診票を交付し、産後の健康状態の把握や産後うつ等のこころの健康チェックを行い、医療機関と連携しながら早期支援を行った。						
●産婦健診（医療機関委託）		第1回（産後2週間）	110件	第2回（産後1か月）	114件	
【産後ケア事業】		1,632,860円	1,044,000円	0円	0円	588,860円
産後1年未満までの母子を対象に、母子の身体的ケア、母親の心理的ケア及び相談、授乳・育児相談を行い、産後の育児支援や、育児不安の軽減を図った。						
●産後ケア事業		訪問型	4件	通所型	86件	短期入所型 12件

【母子健康情報アプリ事業】	759,000円	0円	0円	0円	759,000円
---------------	----------	----	----	----	----------

スマートフォン向けの母子健康情報アプリ「母子モ（安来市版）」を導入し、母子健康手帳のデジタル管理、予防接種のスケジュールリング、各種教室や子育てイベントのオンライン予約とデジタル化により母子保健事業の拡充を図った。

●登録者数 590人

【マタニティ応援プロジェクト事業】	13,044,481円	4,240,000円	0円	8,800,000円	4,481円
-------------------	-------------	------------	----	------------	--------

東洋ライス株式会社及び島根県農業協同組合やすぎ地区本部と連携し、妊婦の方の健康づくりとこれから産まれる胎児の健やかな成長を支援するため、特別な精米で、ビタミンやミネラル、食物繊維など栄養価を多く含む金芽米の無償提供を行った。令和6年度は対象を拡大し、出産した子どもが1歳になるまで提供し、産婦及び乳児の健康保持及び増進を図った。

●申込者数 妊婦 112人（延710人） 産婦 232人（延1,431人）

【出産応援デジタルギフト贈呈事業】	2,000,000円	0円	0円	2,000,000円	0円
-------------------	------------	----	----	------------	----

妊娠届出等をした妊婦の方に、dポイント（10,000円分）を読み込むことができる二次元コードを印刷したデジタルギフトを令和7年4月1日より贈呈するため、事業者へ委託し封入・封緘まで実施した。

					決算事項別明細書			P91						
大事業		10	保健・医療・福祉		担当部署			いきいき健康課						
中事業		10	市民の健康づくりの推進		予算 科目	会計	01	一般会計						
小事業		25	自死対策事業費			款	04	衛生費						
事業開始年度			令和6年度			項	01	保健衛生費						
事業進捗度			—			目	01	保健衛生総務費						
当初予算額			241,000 円		目的	地域の自死対策における基盤整備及び地域・関係機関等と連携し対策の推進を図る。								
予算現額			241,000 円											
決算額 A			161,778 円											
財源内訳	国・県支出金		0 円											
	地方債		0 円											
	その他		0 円											
	一般財源		161,778 円											
人件費コスト B		0.4人役	3,052,800 円		総事業費 A+B			3,214,578 円						
【事業名称】										事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【自死対策事業】										161,778円	0円	0円	0円	161,778円
自死対策会議及び自死対策庁内連絡会議の構成機関・団体、庁内各課などと連携し、第2次安来市自死対策計画（令和6年度～令和10年度）を推進した。														
● 心いきいきキャンペーン														
令和6年9月10日（火）～16日（月）の期間、新たに安来庁舎の関係課窓口にて啓発スタンドの設置や公共施設、安来市立図書館等に啓発コーナーを設置し自死予防について啓発した。また、3月の自死対策強化月間では、講演会や相談窓口等を周知した。														
● 市民向け研修会														
令和7年3月5日（水）に安来中央交流センターにてこころの健康づくり講演会を開催し、約40名の参加があった。また講演会前に新たに安来市主催のゲートキーパー養成講座を実施し11名の参加があった。														
● ゲートキーパー養成講座														
市民、自死対策会議委員、関係団体向けに5か所で開催した。														
● SNSの活用														
相談窓口や講演会、自死予防週間、強化月間などの啓発については、若い世代からの幅広い世代に情報を届けるためSNSも積極的に活用して啓発した。														



心いきいきキャンペーン
（安来市立図書館）



こころの健康づくり講演会

					決算事項別明細書			P91	
大 事 業		10	保健・医療・福祉			担当部署		子ども未来課	
中 事 業		10	市民の健康づくりの推進			予 算 科 目	会 計	01	一般会計
小 事 業		27	出産・子育て応援交付金事業費				款	04	衛生費
事業開始年度			令和6年度				項	01	保健衛生費
事業進捗度			－				目	01	保健衛生総務費
当 初 予 算 額			21,470,000 円			目 的	妊娠期から出産・子育てまで切れ目のない包括的な支援とあわせて、経済的な支援を図るため、妊娠届出時及び出産届出児時にそれぞれ給付金の給付を実施し、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整える。		
予 算 現 額			15,390,000 円						
決 算 額 A			14,167,831 円						
財 源 内 訳	国・県支出金		国2/3 県1/6	11,785,000 円					
	地 方 債			0 円					
	そ の 他			0 円					
	一 般 財 源			2,382,831 円					
人件費コスト B			0.3人役	2,289,600 円		総事業費 A+B		16,457,431 円	
【事業名称】									
【出産・子育て応援交付金事業】			14,167,831円	11,785,000円	0円	0円	2,382,831円		
全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるように、妊娠届出や出生届出を行った妊婦及び出生した子どもを養育する者に対し、出産育児関連用品の購入費や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援を実施するため、出産・子育て応援給付金を実施するにあわせ、伴走型の相談支援を行った。									
●支給対象者・支給額									
・出産応援給付金……妊婦（1人当たり50千円）									
・子育て応援給付金…出生したこどもを養育する者（新生児1人当たり50千円）									
●支給方法									
口座振込による現金給付									
●支給期間									
令和6年4月から令和7年3月末									
●支給者数									
・出産応援給付金……133人									
・子育て応援給付金…145人									
計 278人									
●事業費内訳									
・消耗品									
13,861 円									
・役務費（郵券料）									
35,970 円									
・委託料（伴走型相談支援実施委託）									
218,000 円									
・扶助費（給付金50千円×278人）									
13,900,000 円									
計 14,167,831 円									

【繰越明許】

決算事項別明細書

P93

大事業		10	保健・医療・福祉		担当部署		いきいき健康課	
中事業		10	市民の健康づくりの推進		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		30	感染症予防事業費			款	04	衛生費
事業開始年度			令和5年度			項	01	保健衛生費
事業進捗度			－			目	02	予防費
当 初 予 算 額			0 円		目的	高齢者のインフルエンザ、肺炎の発症予防、重症化予防、蔓延予防及び新型コロナウイルス感染症対策の推進を図る。		
予 算 現 額			2,997,000 円					
決 算 額 A			1,465,167 円					
財源内訳	国・県支出金		国10/10	1,464,367 円				
	地 方 債			0 円				
	そ の 他			0 円				
	一 般 財 源			800 円				
人件費コスト B			0.2人役	1,526,400 円	総事業費 A+B		2,991,567 円	
【事業名称】								
【新型コロナウイルスワクチン接種事業】			1,465,167円	1,464,367円	0円	0円	800円	
令和7年3月末をもって終了した新型コロナウイルスワクチンの臨時接種について、接種委託料等の支払や超低温冷凍庫の処分を行った。								

					決算事項別明細書			P93	
大 事 業		10	保健・医療・福祉			担当部署		いきいき健康課	
中 事 業		10	市民の健康づくりの推進			予 算 科 目	会 計	01	一般会計
小 事 業		30	感染症予防事業費				款	04	衛生費
事業開始年度			令和6年度				項	01	保健衛生費
事業進捗度			－				目	02	予防費
当 初 予 算 額			34,410,000 円			目 的	高齢者のインフルエンザ、肺炎の発症予防、重症化予防、蔓延予防及び新型コロナウイルス感染症対策の推進を図る。		
予 算 現 額			120,235,000 円						
決 算 額 A			102,196,897 円						
財 源 内 訳	国・県支出金		国	61,945,250 円					
	地 方 債			0 円					
	そ の 他		基金	19,500,000 円					
	一 般 財 源			20,751,647 円					
人件費コスト B		1.2人役	9,158,400 円		総事業費 A+B		111,355,297 円		
【事業名称】									
事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源									
【高齢者季節性インフルエンザ予防接種事業】 19,552,155円 0円 0円 19,500,000円 52,155円									
主として65歳以上の高齢者がインフルエンザに罹患し重症化することを防ぐため、感染症予防法及び予防接種法等に基づきインフルエンザ予防接種事業を実施した。									
【新型コロナウイルスワクチン接種事業】 79,420,643円 59,904,250円 0円 0円 19,516,393円									
主として65歳以上の高齢者が新型コロナウイルス感染症に罹患し重症化することを防ぐため、感染症予防法及び予防接種法等に基づき新型コロナウイルスワクチン予防接種事業を実施した。									
【高齢者肺炎球菌感染症予防接種事業】 644,646円 0円 0円 0円 644,646円									
主として接種日に65歳の者を対象に肺炎に罹患し重症化することを防ぐため、感染症予防法及び予防接種法等に基づき高齢者肺炎球菌感染症予防接種事業を実施した。（任意接種で過去に接種した者は除く）									
【風しん追加対策事業】 2,579,453円 2,041,000円 0円 0円 538,453円									
風しんの感染拡大防止のため、国の風しんに対する追加対策により、特に抗体保有率が低いS37.4.2～S54.4.1生まれの男性に対し、無料クーポン券を送付し、風しん抗体検査を実施した。抗体価の低い者には予防接種法に基づく定期接種として風しん予防接種を実施した。									

					決算事項別明細書			P93	
大事業		10	保健・医療・福祉		担当部署			子ども未来課	
中事業		10	市民の健康づくりの推進		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		40	小児予防接種事業費			款	04	衛生費	
事業開始年度			令和6年度			項	01	保健衛生費	
事業進捗度			－			目	02	予防費	
当初予算額			100,486,000 円		目的	定期予防接種の実施及び任意予防接種の公費負担により、乳幼児期～学童期の感染症の発生・蔓延の予防及び死亡者の撲滅を図る。			
予算現額			93,694,000 円						
決算額 A			88,039,098 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債		0 円						
	その他	基金	70,000,000 円						
	一般財源		18,039,098 円						
人件費コスト B		0.7人役	5,342,400 円		総事業費 A+B			93,381,498 円	
【事業名称】									
【定期予防接種（A類疾病）】			事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
			84,659,288円	0円	0円	70,000,000円	14,659,288円		
予防接種法に基づき、乳幼児、児童が感染する恐れのある疾病の発生、蔓延の予防や死亡者の撲滅を図った。BCGを集団接種で実施し、体調不良等により集団接種の機会を逃した1歳未満の児童を対象に個別接種ができるよう安来市立病院に委託した。その他のワクチンについては、医療機関での個別接種により実施した。									
日本脳炎予防接種について、平成17年の積極的接種勧奨の差し控えがあったために接種できなかった児童に対し、特例措置で対応した。									
HPVワクチン接種について、平成25年6月より差し控えていた積極的接種勧奨を令和4年度より再開した。また、同ワクチンの接種機会を逃した者(平成9年度～平成19年度生まれの女子)を対象にキャッチアップ接種を行った。									
ハイリスク児の個別接種について、松江赤十字病院、島根大学医学部附属病院、鳥取大学医学部附属病院、山陰労災病院に委託し、年間を通じて体調の良い時期に接種できるよう配慮した。									
長期里帰りによる市外医療機関への委託も実施し、早期からの予防接種実施に配慮した。									
種別		対象		実施時期		接種件数			
ロタウイルス		1価ワクチン：6週0日～24週0日 5価ワクチン：6週0日～32週0日		通年		290件			
ヒブ		2か月～5歳未満		通年		192件			
小児用肺炎球菌		2か月～5歳未満		通年		566件			
B型肝炎		2か月～1歳未満		通年		426件			
BCG		5か月～1歳未満		通年		147件			
日本脳炎		1期：6か月～7歳6か月未満		通年		609件(特例措置接種者含む)			
		2期：9歳～13歳未満		通年		250件(特例措置接種者含む)			
四種混合		2か月～7歳6か月未満		通年		233件			
五種混合		2か月～7歳6か月未満		通年		376件			
不活化ポリオ		3か月～7歳6か月未満		通年		0件			
麻しん風しん混合 麻しん、風しん		1期：1歳～2歳未満		通年		162件			
		2期：幼稚園、保育所等の年長児		通年		234件			
水痘		1歳～3歳未満		通年		302件			
二種混合		11歳～13歳未満		通年		198件			
HPV		①小学6年生～高校1年生の年齢に該当する女子 ②平成9年度～平成19年度生まれの女子(キャッチアップ接種)		通年		1,208件			
【任意予防接種】			3,379,810円	0円	0円	0円	3,379,810円		
子育て支援の充実の一環として、任意接種の中で、特に集団感染の予防に効果的といわれている「おたふくかぜ」の予防接種を対象に、接種費用を公費負担とし、疾病予防及び経済的負担の軽減を図った。									
●種別：おたふくかぜ ●助成対象：1歳～小学校入学前までの子ども									
●実施時期：通年 ●助成件数：371件									

					決算事項別明細書			P93		
大 事 業		50	都市基盤・生活			担当部署		下水道課		
中 事 業		40	上下水道の整備			予 算 科 目	会 計	01	一般会計	
小 事 業		20	企業会計負担金費（下水道事業・個別排水処理）				款	04	衛生費	
事業開始年度			令和6年度				項	01	保健衛生費	
事業進捗度			－				目	03	環境衛生費	
当 初 予 算 額			11,634,000 円			目 的	安来市下水道事業（個別排水処理）に対して経費の一部を負担することにより経営の安定を図る。			
予 算 現 額			11,634,000 円							
決 算 額 A			11,634,000 円							
財 源 内 訳	国・県支出金			0 円						
	地 方 債			0 円						
	そ の 他			0 円						
	一 般 財 源			11,634,000 円						
人件費コスト B		0.0人役		0 円		総事業費 A+B		11,634,000 円		
【事業名称】										
【企業会計負担金費（下水道事業・個別排水処理）】			11,634,000円		0円		0円		0円 11,634,000円	

					決算事項別明細書			P93	
大 事 業		50	都市基盤・生活			担当部署		下水道課	
中 事 業		40	上下水道の整備			予 算 科 目	会 計	01	一般会計
小 事 業		25	企業会計負担金費（下水道事業・公共浄化槽等整備推進）				款	04	衛生費
事業開始年度			令和6年度				項	01	保健衛生費
事業進捗度			－				目	03	環境衛生費
当 初 予 算 額			118,024,000 円			目 的	安来市下水道事業（公共浄化槽等整備推進）に対して経費の一部を負担することにより経営の安定を図る。		
予 算 現 額			88,565,000 円						
決 算 額 A			88,565,000 円						
財 源 内 訳	国・県支出金			0 円					
	地 方 債			0 円					
	そ の 他			0 円					
	一 般 財 源			88,565,000 円					
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B		88,565,000 円		
【事業名称】									
【企業会計負担金費（下水道事業・公共浄化槽等整備推進）】			88,565,000円	0円	0円	0円	88,565,000円		

					決算事項別明細書			P93						
大事業		50	都市基盤・生活			担当部署		水道管理課						
中事業		40	上下水道の整備			予算科目	会計	01	一般会計					
小事業		30	企業会計負担金費（水道事業）				款	04	衛生費					
事業開始年度			令和6年度				項	01	保健衛生費					
事業進捗度			－				目	03	環境衛生費					
当 初 予 算 額			182,373,000 円			目的	安来市水道事業に対して経費の一部を負担することにより経営の安定を図る。							
予 算 現 額			186,963,000 円											
決 算 額 A			186,963,000 円											
財源内訳	国・県支出金			0 円										
	地 方 債			0 円										
	そ の 他			0 円										
	一 般 財 源			186,963,000 円										
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B		186,963,000 円							
【事業名称】										事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【企業会計負担金費（水道事業）】										186,963,000円	0円	0円	0円	186,963,000円
安来市水道事業会計繰出金														

				決算事項別明細書			P93
大 事 業		50	都市基盤・生活		担当部署		環境政策課
中 事 業		40	上下水道の整備		予 算 科 目	会 計	01 一般会計
小 事 業		32	飲料水安定確保対策事業費			款	04 衛生費
事業開始年度			令和6年度			項	01 保健衛生費
事業進捗度			－			目	03 環境衛生費
当 初 予 算 額			2,000,000 円		目 的	水道施設の整備が困難な地域等において、飲料水その他の生活に必要な水の確保を図る。	
予 算 現 額			2,000,000 円				
決 算 額 A			0 円				
財 源 内 訳	国・県支出金			0 円			
	地 方 債			0 円			
	そ の 他			0 円			
	一 般 財 源			0 円			
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B		0 円
【事業名称】							
【飲料水安定確保対策事業費】		0円	0円	0円	0円	0円	0円
令和6年度は、飲用井戸等設置費に関する補助申請がなかったため、予算の執行はなかった。							
補助金の額：下表のとおり							
補助対象経費				補助金の額（千円未満切捨て）			
1,500千円以下の場合				3分の2の額			
1,500千円超～2,500千円以下の場合				当該補助対象経費より500千円を控除した額			
2,500千円超の場合				2,000千円			

					決算事項別明細書			P93	
大 事 業		60	自然・環境保全		担当部署		環境政策課		
中 事 業		10	自然環境の保全		予算科目	会 計	01	一般会計	
小 事 業		15	環境保全費			款	04	衛生費	
事業開始年度			令和6年度			項	01	保健衛生費	
事業進捗度			－			目	03	環境衛生費	
当 初 予 算 額			11,192,000 円		目的	地球温暖化対策、自然環境の保全、公害対策の実施により周辺環境の保全を図る。			
予 算 現 額			10,554,000 円						
決 算 額 A			10,218,086 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地 方 債		0 円						
	そ の 他		基金	2,200,000 円					
	一 般 財 源		8,018,086 円						
人件費コスト B			1.3人役	9,921,600 円	総事業費 A+B		20,139,686 円		
【事業名称】									
【地球温暖化対策事業】			事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
			2,563,342円	0円	0円	2,200,000円	363,342円		
安来市地球温暖化対策地域協議会との協働による温暖化対策の啓発や環境イラストコンテスト、教育・保育施設での木育支援活動、やすぎ環境フェア等の実施により地球温暖化対策を推進した。									
●環境イラストコンテスト 応募総数：1,255点									
対象：市内小学4～6年生、中学1～3年生									
●教育・保育施設での木育支援活動									
対象：市内保育所（園）、認定こども園、幼稚園									
実施施設：14施設									
●やすぎ環境フェア2024									
開催日：令和6年10月27日									
開催場所：伯太中央交流センター（わかさ会館）									
									
環境フェア内 第1回どじょうすくいロボコン									
【水環境保全事業】			1,727,000円	0円	0円	0円	1,727,000円		
●市内10河川15地点において、河川水質調査を実施した。									
【公害防止対策事業】			1,122,000円	0円	0円	0円	1,122,000円		
●騒音規制法の規定に基づき、設定地点における自動車騒音測定を実施した。									
測定地点 2箇所 ①（国道9号：黒井田町） ②（安来木次線：安来町）									
区間 (km)	対象 戸数	昼夜基準値以 下戸数	昼のみ基準値 以下戸数	昼夜基準値超 過戸数	等価レベル (昼間)	等価レベル (夜間)	調査日		
①6.7	214	165	26	23	73db	70db	1月23日		
②1.2	155	155	0	0	64db	56db	1月23日		
【その他】			4,805,744円	0円	0円	0円	4,805,744円		
●民地における小動物死骸回収を行い、公衆衛生の向上を図った。回収実績：20件 220,000円									
●老朽管更新事業負担金（水道会計への負担金）									
①平成7年度老朽管更新事業の上積事業費1/4にかかる出資額 1,474,574円									
②平成8年度未普及地域配水管整備事業起債額にかかる償還元利合計額 3,024,370円									
●その他 86,800円									

					決算事項別明細書			P93	
大 事 業		60	自然・環境保全			担当部署		環境政策課	
中 事 業		20	再生可能エネルギーの利用			予 算 科 目	会 計	01	一般会計
小 事 業		10	再生可能エネルギー推進費				款	04	衛生費
事業開始年度			令和6年度				項	01	保健衛生費
事業進捗度			－				目	03	環境衛生費
当 初 予 算 額			23,750,000 円			目 的	再生可能エネルギーの普及促進を図り、温室効果ガス削減による地球温暖化防止を図る。		
予 算 現 額			13,750,000 円						
決 算 額 A			13,607,100 円						
財 源 内 訳	国・県支出金	国 県	12,206,100 円						
	地 方 債		0 円						
	そ の 他		0 円						
	一 般 財 源		1,401,000 円						
人件費コスト B		1.3人役	9,921,600 円		総事業費 A+B		23,528,700 円		
【事業名称】									
【再生可能エネルギー普及事業】			13,607,100円	12,206,100円	0円	0円	1,401,000円		
●再生可能エネルギー普及事業委託料（国10/10）									
交流センター等における太陽光発電設備導入可能性調査を実施した。また、理解促進のためのイベントとして、ミニミニ水力発電親子体験教室等を行った。									
									
ペットボトルを再利用して作った水車									
●再生可能エネルギー設備等設置費補助金									
・太陽光発電設備									
補助率：3万円/kW（上限12万円）			交付件数：21件		補助金総額：2,450,000円				
・蓄電池設備									
補助率：5万円（設置費用を上限とする）			交付件数：20件		補助金総額：1,000,000円				
・太陽熱利用設備									
補助率：3分の1（上限20万円）			交付件数：0件		補助金総額：0円				
・木質バイオマス熱利用設備									
補助率：3分の1（上限15万円）			交付件数：2件		補助金総額：300,000円				

					決算事項別明細書			P93	
大 事 業		50	都市基盤・生活			担当部署		市民課	
中 事 業		20	住環境の整備			予 算 科 目	会 計	01	一般会計
小 事 業		10	火葬場費				款	04	衛生費
事業開始年度			令和6年度				項	01	保健衛生費
事業進捗度			－				目	04	火葬場費
当 初 予 算 額			68,059,000 円			目 的	公衆衛生・公共の福祉の見地から火葬業務の管理、運営及び整備を行う。		
予 算 現 額			54,048,000 円						
決 算 額 A			47,564,745 円						
財 源 内 訳	国・県支出金		0 円						
	地 方 債		過疎外		17,900,000 円				
	そ の 他		使用料		7,012,007 円				
	一 般 財 源				22,652,738 円				
人件費コスト B		0.7人役	5,342,400 円		総事業費 A+B		52,907,145 円		
【事業名称】									
【火葬場費】									
火葬業務の委託、火葬施設・式場施設及びその付属施設等の管理運営を行った。									
施設の管理においては、定期的な清掃・検査に加え、火葬炉設備の修繕等を行い施設の整備、安全管理に努めた。									
● 令和6年度斎場使用状況									
・火葬件数 685件〔死体（胎） 676体、胎盤肢体等の焼却 1件、改葬 8件〕									
・施設使用件数 2件〔式場 0件、霊安室 2件〕									
● 独松山霊苑火葬炉設備改修工事 4,950,000円									
火葬炉台車やバーナーコンバスターの更新等を行った。									
● 安来市斎場「独松山霊苑」火葬業務委託									
委託期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日									
委託金額 年額 13,068,000円									
総額 39,204,000円									
相手方 株式会社 島根東亜建物管理									
● 独松山霊苑用地測量業務（法面对策） 6,354,700円									
R4年に策定した施設の長寿命化及び土砂災害対策を目指した改修基本計画に基づき、土砂災害対策工事のための用地測量を行った。									
● 独松山霊苑法面修正設計業務 5,830,000円									
R5年に実施した土砂災害対策工事のための測量設計業務について、島根県との協議の結果、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の解除のために設計の変更が必要となったため、修正設計を実施した。									
※翌年度繰越額 5,830,000円									
設計事業者との協議に時間を要したため。									
● 独松山霊苑火葬場改修工事実施設計業務委託 11,627,000円									
R4年に策定した施設の長寿命化及び土砂災害対策を目指した改修基本計画に基づき、建物の改修や火葬炉の更新の実施設計を行った。									

大 事 業		10	保健・医療・福祉		担当部署		いきいき健康課	
中 事 業		10	市民の健康づくりの推進		予 算 科 目	会 計	01	一般会計
小 事 業		45	診療所費			款	04	衛生費
事業開始年度			令和6年度			項	01	保健衛生費
事業進捗度			－			目	05	病院・診療所費
当 初 予 算 額			7,561,000 円					
予 算 現 額			7,561,000 円					
決 算 額 A			5,978,819 円					
財 源 内 訳	国・県支出金			0 円				
	地 方 債		過疎	5,100,000 円				
	そ の 他			0 円				
	一 般 財 源			878,819 円				
人件費コスト B			0.3人役	2,289,600 円		総事業費 A+B		8,268,419 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【診療所管理事業】	5,978,819円	0円	5,100,000円	0円	878,819円

井尻診療所及び赤屋診療所について診療機能を維持し安心・安全に医療を提供するため消防点検及び老朽化により改修が必要な部分の改修工事等環境整備をおこなった。



井尻診療所・看板改修



井尻診療所・受付フロア改修



赤屋診療所・スロープ設置

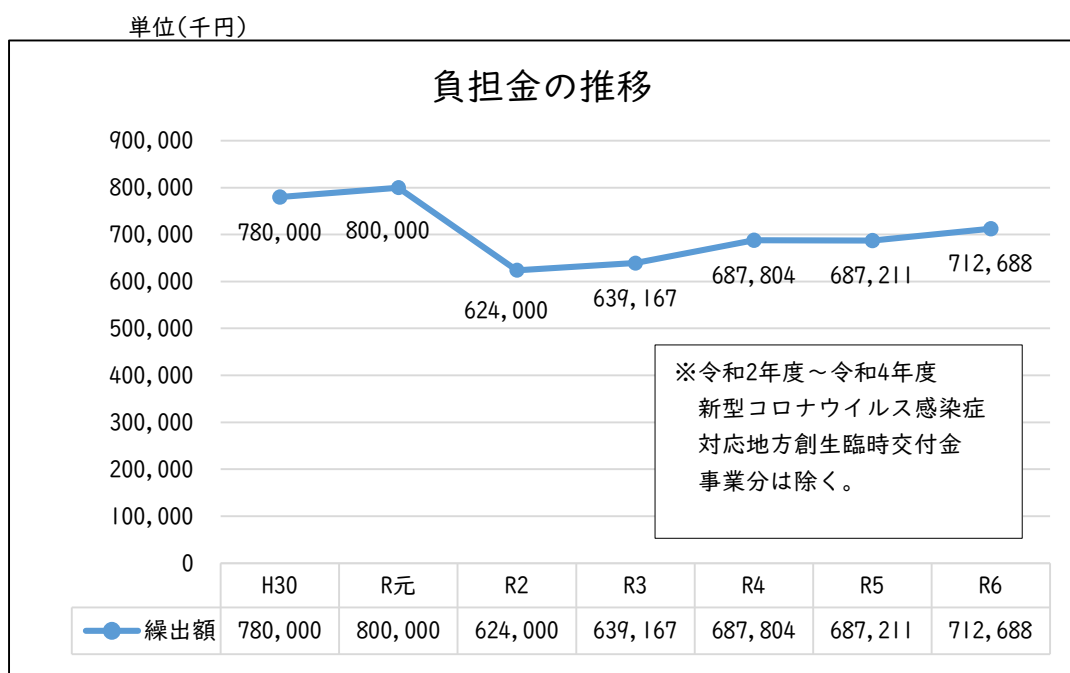


赤屋診療所・待合室フロア改修

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【安来市立病院事業会計負担金】	712,688,000円	0円	0円	0円	712,688,000円
国が示す繰出基準に基づき、安来市立病院が行う不採算医療等の政策的医療を実施するために必要な経費に対して負担金を支出した。 ●負担金の内訳 繰出基準に基づく負担金 712,688,000 円					

負担金の推移							単位(千円)
年度	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
繰出基準分	494,483	490,192	624,000	639,167	687,804	687,211	712,688
経営改善特別支援 (基準外分)	285,517	309,808	-	-	-	-	-
コロナ交付金※分	-	-	165,500	45,000	22,000	-	-
合計	780,000	800,000	789,500	684,167	709,804	687,211	712,688

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業



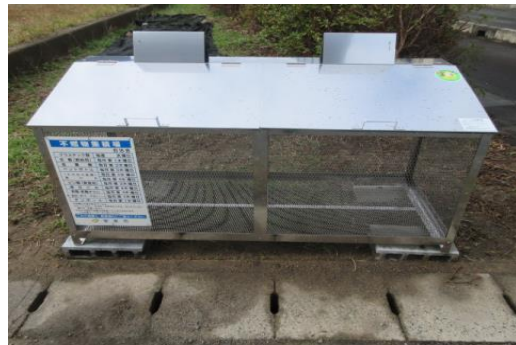
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【公立病院改革推進事業】	8,626,427円	0円	0円	0円	8,626,427円
安来市医療提供体制検討委員会を設置し、将来にわたり市民に安定して質の高い医療を提供し続けるための基礎となる安来市地域医療構想の策定を目指した。検討委員会からは現状分析を踏まえた安来市の医療提供体制の将来像についての講評が示され、この講評内容を踏まえ、継続して市内医療法人と一致した将来像を見いだせるよう協議を進めていくこととなった。					
●委託料（安来市医療提供体制検討委員会現状分析業務）			6,600,000 円		
●委員謝礼(安来市医療提供体制検討委員会)			108,800 円		
●アドバイザー謝礼（総務省アドバイザー）			1,544,000 円		
●その他（消耗品等）			373,627 円		
合 計			8,626,427 円		



第2回安来市医療提供体制検討委員会の様子

大事業	60	自然・環境保全		担当部署		環境政策課
中事業	30	循環型社会の形成		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	10	ごみ収集事業費			款	04 衛生費
事業開始年度		令和6年度			項	02 清掃費
事業進捗度		－			目	02 塵芥処理費
当初予算額		180,350,000 円		目的	一般廃棄物の円滑な収集運搬、地域の清掃活動の支援を図る。	
予算現額		176,085,000 円				
決算額 A		174,090,868 円				
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債		0 円			
	その他	手数料外	43,634,230 円			
	一般財源		130,456,638 円			
人件費コスト B		1.1人役	8,395,200 円	総事業費 A+B		182,486,068 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【一般廃棄物収集運搬事業】	173,863,868円	0円	0円	43,634,230円	130,229,638円
●市内で排出された一般廃棄物の円滑な収集及び運搬を行った。 ●不法投棄パトロールを実施し、不法投棄の防止活動を行った。 ●クリーンアップやすぎデーを実施し、自治会及び団体による環境保全活動を行った。					
実施団体	132 団体	参加者数	3,181 人	回収量	2,140 kg
【廃棄物集積場設置整備費補助事業】	227,000円	0円	0円	0円	227,000円
●円滑なごみ収集を実施するために、集積場化を推進した。					
補助金交付件数	4 件	交付総額	227,000 円		
補助金の額	補助対象経費の1/2				
	補助限度額	5世帯以上9世帯以下	50,000円		
		10世帯以上14世帯以下	100,000円		
		15世帯以上	150,000円		



集積場補助事業活用による自治会等の集積場

					決算事項別明細書			P95		
大 事 業		60	自然・環境保全			担当部署		環境政策課		
中 事 業		30	循環型社会の形成			予 算 科 目	会 計	01	一般会計	
小 事 業		15	可燃ごみ処理施設運営費				款	04	衛生費	
事業開始年度			令和6年度				項	02	清掃費	
事業進捗度			－				目	02	塵芥処理費	
当 初 予 算 額			312,992,000 円			目 的	可燃ごみ積替え施設を管理運営し、可燃ごみの適正処理を図る。			
予 算 現 額			292,885,000 円							
決 算 額 A			270,952,127 円							
財 源 内 訳	国・県支出金			0 円						
	地 方 債			0 円						
	そ の 他		手数料	28,708,260 円						
	一 般 財 源			242,243,867 円						
人件費コスト B			0.6人役	4,579,200 円		総事業費 A+B		275,531,327 円		
【事業名称】										
【可燃ごみ処理施設運営事業】			270,952,127円		0円		0円		28,708,260円 242,243,867円	
清瀬クリーンセンター積替え施設の管理運営、可燃ごみの焼却処理委託業務等を行った。										
●施設管理運営費			4,321,235円							
・光熱水費、修繕料、手数料、保守管理委託料外										
●可燃ごみ焼却処理等委託料			266,630,892円							
・可燃ごみ焼却処理業務 可燃ごみ処理量 7,096 t										
・積替え運搬業務										
・可燃ごみ汚水積込運搬業務										

大 事 業	60	自然・環境保全		担当部署		環境政策課	
中 事 業	30	循環型社会の形成		予 算 科 目	会 計	01	一般会計
小 事 業	20	不燃ごみ処理施設運営費			款	04	衛生費
事業開始年度		令和6年度			項	02	清掃費
事業進捗度		－			目	02	塵芥処理費
当 初 予 算 額		61,324,000 円		目 的	不燃ごみ処理施設を管理運営し、埋立ごみの減量化を図る。		
予 算 現 額		60,497,000 円					
決 算 額 A		59,545,830 円					
財 源 内 訳	国・県支出金		0 円				
	地 方 債		0 円				
	そ の 他	手数料	2,708,930 円				
	一 般 財 源		56,836,900 円				
人件費コスト B		0.6人役	4,579,200 円	総事業費 A+B		64,125,030 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【不燃ごみ処理施設運営事業】	59,545,830円	0円	0円	2,708,930円	56,836,900円
----------------	-------------	----	----	------------	-------------

●不燃ごみ処理施設業務委託料

49,879,125円

市内3ヶ所の不燃ごみ処理施設の管理運営、中間処理委託業務を行った。

高尾クリーンセンター 不燃物の受入、ビンの選別、粗大ごみ及び金属類の選別・破碎処理

広瀬一般廃棄物最終処分場 不燃物の受入

伯太一般廃棄物最終処分場 不燃物の受入、缶の選別・プレス処理

令和6年度 不燃ごみ処理施設別 搬入手数料

	件数	金額
高尾	3,470	2,293,800円
広瀬	600	320,130円
伯太	160	95,000円
合計	4,230	2,708,930円

不燃ごみ処理量 (t)

金属類	ビン類	粗大ごみ	缶類
131	120	480	18

●施設管理運営費

9,666,705円

- | | |
|--------------------------------|------------|
| ・ 需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料） | 7,375,311円 |
| ・ 役務費（通信運搬費、手数料、保険料） | 753,394円 |
| ・ 委託料（電気保安業務、浄化槽清掃業務） | 465,300円 |
| ・ 使用料及び賃借料 | 800,000円 |
| ・ その他 | 272,700円 |

					決算事項別明細書			P95	
大事業		60	自然・環境保全			担当部署		環境政策課	
中事業		30	循環型社会の形成			予算科目	会計	01	一般会計
小事業		25	最終処分場運営費				款	04	衛生費
事業開始年度			令和6年度				項	02	清掃費
事業進捗度			－				目	02	塵芥処理費
当初予算額			14,011,000 円			目的	最終処分場を管理運営し、浸出水の適正処理を図る。		
予算現額			13,382,000 円						
決算額 A			12,764,173 円						
財源内訳	国・県支出金			0 円					
	地方債			0 円					
	その他			0 円					
	一般財源			12,764,173 円					
人件費コスト B		0.6人役	4,579,200 円		総事業費 A+B		17,343,373 円		
【事業名称】									
事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源									
【最終処分場運営事業】 12,764,173円 0円 0円 0円 12,764,173円									
伯太一般廃棄物最終処分場、クリーンセンター穂日島の埋立処分場の管理運営、浸出水の適正処理を行った。									
伯太一般廃棄物最終処分場埋立処分量 今年度埋立量 293㎡ 重量 283t 残余容量 3,402㎡									
●需用費（消耗品費、光熱水費、修繕料） 3,115,903 円									
●役務費（通信運搬費、手数料） 5,216,642 円									
●委託料（除草業務、電気保安業務、浄化槽清掃業務） 2,816,594 円									
●その他（敷地借上料、中海干拓地管理賦課金など） 1,615,034 円									

					決算事項別明細書			P95		
大 事 業		60	自然・環境保全		担当部署			環境政策課		
中 事 業		30	循環型社会の形成		予 算 科 目	会 計	01	一般会計		
小 事 業		35	廃棄物処理施設整備事業費			款	04	衛生費		
事業開始年度			令和6年度			項	02	清掃費		
事業進捗度			－			目	02	塵芥処理費		
当 初 予 算 額			14,436,000 円		目 的	各廃棄物処理施設の施設整備を実施することで、経済的かつ効率的な施設運営及び廃棄物の適正処理を図る。				
予 算 現 額			14,071,000 円							
決 算 額 A			11,806,300 円							
財 源 内 訳	国・県支出金		0 円							
	地 方 債		0 円							
	そ の 他		基金	2,000,000 円						
	一 般 財 源		9,806,300 円							
人件費コスト B		0.6人役	4,579,200 円		総事業費 A+B		16,385,500 円			
【事業名称】										
【廃棄物処理施設整備事業】			11,806,300円		0円		0円		2,000,000円	9,806,300円
各廃棄物処理施設の設備改修を計画的に実施することにより、安定した廃棄物の適正処理を行った。										
● 広瀬水処理施設解体等測量設計業務委託（広瀬一般廃棄物最終処分場） 9,634,900円										
最終処分場の廃止に伴い、水処理施設の解体を行うための測量及び設計業務を行った。										
										
解体予定の水処理施設（広瀬）										
● 高圧ケーブル及び避雷器修繕工事（クリーンセンター穂日島） 2,035,000円										
高圧ケーブル、避雷器の経年劣化による事故の危険性があることから、設備の更新を実施した。										
● その他（修繕外） 136,400円										

					決算事項別明細書			P95					
大 事 業		50	都市基盤・生活		担当部署			下水道課					
中 事 業		40	上下水道の整備		予 算 科 目	会 計	01	一般会計					
小 事 業		35	コミュニティ・プラント運営費			款	04	衛生費					
事業開始年度			令和6年度			項	02	清掃費					
事業進捗度			－			目	03	し尿処理費					
当 初 予 算 額			2,777,000 円		目 的	汚水処理施設（コミュニティ・プラント）の定期的な維持管理により下水道事業の経営安定に資する。							
予 算 現 額			3,076,000 円										
決 算 額 A			2,771,149 円										
財 源 内 訳	国・県支出金			0 円									
	地 方 債			0 円									
	そ の 他	使用料	1,096,090 円										
	一 般 財 源		1,675,059 円										
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B			2,771,149 円					
【事業名称】									事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【コミュニティ・プラント運営費】									2,771,149円	0円	0円	1,096,090円	1,675,059円
福頼団地のコミュニティ・プラント施設の定期的な維持管理費													
(単位：戸、％)													
処理施設名			供用開始戸数		接続戸数		接続率						
福頼団地コミプラ			26		26		100.0						

					決算事項別明細書			P95													
大事業		50	都市基盤・生活			担当部署		環境政策課													
中事業		40	上下水道の整備			予算科目	会計	01	一般会計												
小事業		40	し尿処理施設運営費				款	04	衛生費												
事業開始年度			令和6年度				項	02	清掃費												
事業進捗度			－				目	03	し尿処理費												
当初予算額			119,577,000 円			目的	し尿処理施設の適正管理を図る。														
予算現額			124,371,000 円																		
決算額 A			123,605,185 円																		
財源内訳	国・県支出金		0 円																		
	地方債		0 円																		
	その他		0 円																		
	一般財源		123,605,185 円																		
人件費コスト B		0.3人役	2,289,600 円		総事業費 A+B		125,894,785 円														
【事業名称】事業費国・県支出金地方債その他一般財源 【し尿処理施設運営事業】123,605,185円0円0円0円123,605,185円 対仙浄園汚泥再生処理センターの施設運営を5年間(令和3年～令和7年)の包括的運営管理委託とし、長期的な経費の節減を図るとともに、維持管理の効率化及び安定した適性処理を図った。 ●搬入量 (㎏)●搬出量 (t) <table><tr><td>し尿</td><td>浄化槽汚泥</td><td>農集汚泥</td><td>脱水汚泥</td><td>し渣</td><td>沈砂</td></tr><tr><td>2,593</td><td>6,563</td><td>43</td><td>139</td><td>41</td><td>4</td></tr></table>										し尿	浄化槽汚泥	農集汚泥	脱水汚泥	し渣	沈砂	2,593	6,563	43	139	41	4
し尿	浄化槽汚泥	農集汚泥	脱水汚泥	し渣	沈砂																
2,593	6,563	43	139	41	4																